

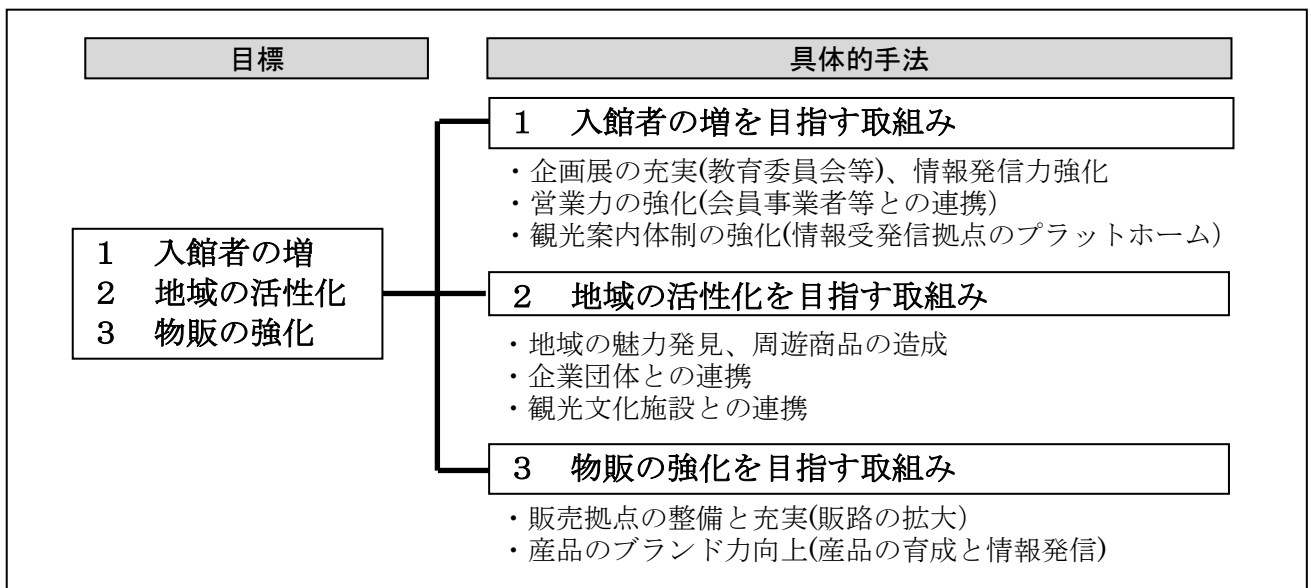
平成 28 年度事業計画

事業方針（案）

震災からの復旧・復興が進む中、ふくしまDCや島サミット、常磐道全線開通・常磐線上野東京ライン開業等の環境が整備される一方、未だに風評被害や、震災記憶の薄れ、旅行における観光バス問題等から、観光を取り巻く環境は、さらに厳しい状況が続いている。

そのような中、平成28年度は、アフターDCや市制施行50周年事業、いわきサンシャイン博、U-15野球ワールドカップなど、誘客に結び付ける事業が開催されることから、これらの機会を逃すことなく、積極的な情報発信や誘客活動を、各部会を通し、会員皆様と共に図って参ります。

さらに、一般財団法人いわき市産業振興公社（いわき市石炭・化石館）との統合によるメリットを活かし、昨年度検討された「統合検討委員会」からの提案を28年度以降の目標に、中長期の視点から推進して参ります。



具体的事業について

I 公益事業

1 二次交通サポート事業（事業費：2,500千円）

二次交通（バス・タクシーの活用）と関連した商品を造成し、市内周遊の強化と観光誘客の拡大を図る。

- イベントに併せた二次交通の整備
- 地域間・施設間連携のための二次交通の整備

2 いわき市石炭・化石館の企画展等による地域振興事業（事業費：17,500千円）

- 情報の受発信拠点としての機能構築、受け入れ体制を整える。
- 常磐炭田史研究会、いわきヘリテージツーリズム協議会、地元各種団体やボランティア等との連携を図り、地域とも協働した企画展等を開催し地域振興を推進する。

- (1) いわき市石炭・化石館及びウッドピアいわき施設管理（委託事業：82,993千円）
適切な館の運営に努め、学芸員の1名増により、定期的な企画展の開催、受け入れ体制の強化、教育旅行等の誘致に努め、一層の魅力アップと入館者の満足度を図る。

①定期的な企画展、基幹イベントを開催し、入館者増を図る。

○企画展の開催

- ・ 7月中旬／夏の特別企画展「収蔵品5万点から厳選した化石等を公開展示」
- ・ 10月中旬／秋の特別企画展「常磐炭鉱等に係る映像上映と解説」
- ・ 10月下旬／冬の特別企画展「炭鉱とくらしをテーマとした企画展」
- ・ 12月上旬／特別企画展「エジプト展・吉村作治氏とのワークショップ開催」
- ・ 3月中旬／春の特別企画展「石炭をテーマとした企画展」
- ・ その他／「映画・超高速！参勤交代リターンズ」企画展など

○基幹イベントの開催

- ・ さくらコンサート(4/17)、ミュージアムナイト(夏休み、冬休み期間)
クリスマスコンサート(12月下旬)、バレンタインコンサート(2月中旬)

○上記の計画等にあたり、運営委員会を設置し検討する。

②講堂等を活用したイベント・講演会等を開催し、入館者増を図る。

③ミュージアムショップ(売店)及び館内の一部を改装し、商品群の魅力向上及び来館者への観光情報等（PRコーナーの設置）の提供に努める。

④その他、館内修繕等の必要箇所を把握し、お客様の安全確保と快適な観覧に努める。

II その他事業（地域活性化事業）

1 観光誘客の促進及び入館者増を目指す取り組み（観光事業部会）

各種事業、開催事業等の効果的な情報発信と集客を目的に、本部会内に、会員事業者の営業担当者を集めた意見交換の場を設け、誘客の促進に努めるとともに観光誘客の促進と中長期戦略の検討を行う。

(1) ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業（委託事業：3,818千円）

- ・ 4月から6月の期間中及び以降の周遊プランをJR東日本と連携し企画する。

(2) 観光パンフレット・ポスター、媒体紙等作製事業（負担金事業）

- ・ 広報宣伝及び効果的な媒体の活用において、タイムリーな情報発信に努める。

(3) 観光誘客宣伝事業（負担金事業）

- ・ 市内外の観光施設及び旅行エージェント等への営業活動に努める。
- ・ インバウンド誘致に係る企画・営業活動に努める。（福島県等との連携）
- ・ 各種団体、企業等とともに観光キャラバンやPR活動に努める。
- ・ 観光ポスター、各種パンフレットの作成

(4) MICE関連事業の推進（市と連携しプロモーション活動を行う）

- ・ コンベンション等誘致事業の推進（補助金：2,500千円）
- ・ MICE誘致推進事業等（委託事業：6,256千円）

(5) 教育旅行の推進、営業・プロモーション活動に参加する。

（福島県、県観光物産交流協会等との連携）

- ・ いわき市石炭・化石館を拠点とした周遊企画を提案し、営業活動に努める。
- ・ 防災、減災プログラムの提供、受け入れ体制を整え、誘致活動に努める。

(6) いわき市総合観光案内所運営事業（委託事業：5,300千円）

- ・ 観光情報、地域の様々情報を受発信する（HP/Fb/Twitterは毎日発信に務める。）

(7) 「いわきサンシャイン博実行委員会」と連携し、受入れ体制を整備し、地域の魅力創造・情報発信の強化に努める。

(8) 「いわき観光共同キャンペーン実行委員会」との連携

2 観光交流人口増を目指す取り組み（地域ネットワーク事業部会）

交流人口の増大に資する事業の検討をおこない、地域ネットワーク（地域の核となる団体、個人）の形成を図り、新たな観光需要を喚起するプログラムを検討する。

- (1) サンシャインガイドいわき事業（委託事業：3,259千円／4月24日3名選出）
- (2) 海開き事業（委託事業：450千円／7月16日／勿来海水浴場）
- (3) いわきおどり運営事業（委託事業：14,200千円／8月8日）
- (4) いわきまつり助成事業（補助金：4,491千円）
- (5) フィルム・コミッション推進事業（緊急雇用事業：2,417千円／通年）
 - ・ロケ地資源のPRと広報宣伝（超高速！参勤交代リターンズ等のPR）
- (6) 市制施行50周年記念事業「鉄道イベント開催事業」（委託事業：308千円）
- (7) 新たな観光需要の喚起を目的に、レイライン（地域の聖地探し）、インGRES（位置情報ゲーム）等による集客事業の検討を行う。
- (8) 受け入れ体制づくりを充実するための勉強会、研究会、講演会等、各種サービス事業の実施

3 物販の強化を目指す取り組み（物産事業部会）

化石館売店の一部改装を行いながら拠点としての機能構築、定期的なイベント開催及び首都圏等での風評払拭、友好都市関係機関との連携など、積極的な物販の販売を展開し、会員事業者様との連携により物販の販売強化を図る。

- (1) 産品情報の受発信事業（負担金事業）
 - ・通年依頼されるイベント等への出店（年間：30～40事業）
 - ・友好交流都市、復興支援市町村との事業連携及び情報発信
- (2) いわきの大物産展事業（負担金事業／10月頃）
 - ・市農業振興課（ふりかけグランプリ等）との連携による開催
- (3) いわき水産物風評被害対策事業「常磐もの」認知度向上（委託事業：9,137千円）
 - ・大型展示商談会事業として「スーパーマーケットトレードショー」への出展
- (4) 水産物消費拡大・販売強化事業（委託事業：8,802千円）
 - ・市内水産物取扱い事業者の状況調査、風評払拭を目的とした首都圏等でのPR
 - ・水産物風評被害対策として「常磐もの」の認知度向上を目的とした事業の展開
- (5) 東京都港区との連携事業（負担金事業）
 - ・新橋イルミネーションフェスタ（11月中旬）
- (6) 化石館「ほるる」売店等を活用した販売強化
 - ・夏休み前までに、売店の一部レイアウトを変更し、ふるさと産品認定商品等の販売、PRに努める。
 - ・館内コミュニティスペースを活用したイートイン企画を検討する。

Ⅲ その他目的を達成するために必要な事業

1 総会・理事会・各事業部会の開催

2 日本版DMO推進の検討

3 各種要望活動（観光誘客に関する要望・陳情及び原発事故に伴う損害賠償等への活動）